



秋田ふるさと検定試験 問題用紙

(午後1時30分開始 制限時間100分)

第11回 1級

注意事項

1. 答案用紙の記入にあたっては、HB又はBの黒鉛筆、シャープペンシルを使用すること。
2. 解答はすべて答案用紙に記入し、提出すること。
3. 問題に解答を「漢字で書きなさい」と記載している場合は、ひらがな、カタカナ表記は不正解とします。
4. 「歴史」「観光」「祭り・行事」「自然」「生活文化」「産業」の6分野から、2分野を選択して解答すること。

2019年9月8日

秋田県商工会議所連合会

【歴史】

（問題 1）

安東氏内部の主導権争いである湊合戦では双方が共に周辺勢力の力を借りて戦局を有利に展開しようとする外交戦術を用いたことで有名である。檜山城を拠点とした実季が協力を求めたのはどこの勢力か。

（問題 2）

弥生時代に村を防衛するため人々はその地域に見合った方法で村を守った。瀬戸内地域では敵の攻撃が難しい山の中腹などに村を作った。この様な防衛集落を高地性集落と言うが、これまでに知られていなかった形態の防衛集落が秋田市の地蔵田遺跡から発見され、学界の注目を浴びた。どの様な工夫をした集落なのか。

（問題 3）

昨年（2018）は戊辰戦争 150 年であったため各地で諸行事が催され戊辰戦争に注目が集まったが、その頃を舞台にした島崎藤村の小説「夜明け前」の主人公 青山半蔵は、中山道馬籠宿から開国を求める諸外国の動きを知り尊王攘夷の思想に傾倒し行動していく。この半蔵に尊王攘夷の思想を強く与えた秋田出身の實在した人物はだれか。漢字で答えなさい。

（問題 4）

次の記述【 】に当てはまる歴史用語を漢字で書きなさい。

明治 4（1871）年 7 月 14 日、明治政府の【 A 】によって秋田県が誕生した。この時の秋田県は旧秋田藩領のみで、前年 2 月に秋田藩から分かれた【 B 】藩は【 B 】県に、亀田藩、本荘藩、矢島藩はそれぞれ亀田県、本荘県、矢島県となった。また仁賀保領は山形県、鹿角郡は江刺県に属していたが、これらの地域がすべて編入され現在の秋田県が成立したのは同年の 11 月 2 日のことである。

(問題5)

次の記述の中の【 】に当てはまる人物名を漢字で書きなさい。

秋田には数多くの神社があり、地域の人々に大切にされて来た。中には歴史上有名な人物が創建者であったり、再建者であったりとの言い伝えが残っている由緒のある神社もある。大仙市協和にある唐松神社は【 A 】の再建と伝えられており、秋田市児桜にある古四王神社は、【 B 】が蝦夷対策で秋田に来た時、創建したと伝えられている。

(問題6)

秋田藩三代藩主の佐竹義処は、佐竹宗家の継承権を持つ家柄を二家元禄期に分知の形で作り、末期養子の禁への政策的対応をとっている。この二家を分知高の高い方を先に、低い方を後にして漢字で書きなさい。

(問題7)

考古学の進歩により全国各地で遺物の新発見が相次いでいるが、秋田県から出土した遺物の中には、他地方では出土しているがいまだ秋田県では出土していない遺物もある。そのなかの土製品と金属器をそれぞれ漢字で書きなさい。

(問題8)

次の記述の中で誤っている箇所を2箇所見つけ、その誤り語句と正しい語句の両方を漢字で書きなさい。

旧黒沢家住宅は秋田藩の上級武士の黒沢氏が藩政後期頃から居住していたもので、当時の上級武士の屋敷が丸ごと残っており全国的にも貴重である。黒沢氏は戦国期戸沢氏の重臣で、佐竹氏入部後に地元の武士として採用され阿仁鉱山の奉行となり、大坂冬の陣で武功をあげ二代将軍の秀忠から感状を与えられている。

(問題 9)

下記の記述の中で誤っている箇所を 2 箇所見つけ、その誤り語句と正しい語句の両方を漢字で書きなさい。

- 1 永泉寺は本荘藩主六郷氏の菩提寺で、山門は江戸末期の建造である。
- 2 天徳寺は秋田藩佐竹氏の菩提寺で、佐竹氏累代の肖像画が残っていることで有名である。
- 3 全良寺は藩政初期の家老梅津氏が作った同氏の氏寺であるが、同寺には戊辰戦争で戦死した明治政府関係者の墓が官修墓地としてあることで有名である。
- 4 平田篤胤墓地は秋田市手形大沢にあり、彼の師である佐藤信淵の墓地の方向に向かって正座して葬られたと伝えられている。

(問題 10)

奈良時代の秋田を次の 3 つのキーワードを使って 150～200 字程度の文章で説明しなさい。

「泉一の坪」

「秋田城」

「条里制」

【観光】

(問題 1)

平成 28 (2016) 年 7 月以降、「うご」「おおゆ」「おが」の道の駅が開設されて、秋田県の「道の駅」は現在何ヶ所となったか、その数を書きなさい。

(問題 2)

今年 (2019) 3 月 4 日に NHK で放送された「プロフェッショナル 仕事の流儀」で、「伝説の杜氏」として紹介された高橋藤一氏が杜氏を務めている齋彌酒造店が醸造している、最も流通している代表銘柄を書きなさい。

(問題 3)

平成 20 (2008) 年に行われた goo ランキングの「芸名・人名だと勘違いしそうな実在の駅名ランキング」で、「武豊駅」「中山香駅」「伊賀和志駅」「近江舞子駅」などを抑え、堂々の 1 位になった秋田県にある JR 東日本の駅名を書きなさい。

(問題 4)

秋田市にある「自然休養林」(林野庁が国有林の多目的利用のためにつくった施設)の記述について、【 】に当てはまる名称を書きなさい。

【 A 】国民の森は信仰の山としても有名な太平山の山麓に広がる自然公園で、秋田スギやブナの森林を散策できる。公園内には、【 A 】森林博物館があり、秋田スギに関する展示や林業で利用した機械類、軌間が狭くカーブの曲率も高い線形が特徴とする産業用の【 B 】の機関車が展示されている。

(問題 5)

秋田県のロケット実験場に関する記述について、【 】に当てはまる地名を書きなさい。

宇宙ブームの中で見学スポットとして人気の【 A 】ロケット実験場は、JAXA の附属研究施設の一つとして昭和 37 (1962) 年に日本海に面した南北に細長い敷地に開設された。それを遡る 7 年前の昭和 30 (1955) 年に日本初のロケットが、秋田県の【 B 】海岸で打ち上げられている。現存する施設などは一切なく、「日本ロケット発祥記念之碑」という一枚の石碑のみが国道の道端に建立されているだけだが、【 B 】と【 A 】のロケット実験場の存在が、日本の宇宙開発の歴史に秋田県の名を刻んでいる。

(問題 6)

道の駅「かづの」の愛称と、その中にある「祭り展示館」に屋台が展示されている祭礼の名称をそれぞれ書きなさい。

(問題 7)

JR 大館駅前に大館市が今年 (2019) 5 月 8 日に開設した観光交流施設の名称、そして施設建物の外観のモチーフとなった昭和初期の駅舎の駅名をそれぞれ書きなさい。

(問題 8)

仙北市を流れる檜木内川のサクラの記述について誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

昭和 8 (1933) 年の檜木内川の堤防完成と皇太子誕生を記念して、翌年に町の人々によってシダレザクラの苗木が植樹された。見事に成長した約 400 本、2km に及ぶサクラ並木は「花のトンネル」の名で親しまれ、武家屋敷とともに毎年 100 万人もの観光客を集めている。

(問題 9)

五城目朝市の記述について誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

100 年余という県内で最も歴史がある朝市。毎月 2・5・7・0 が付く日に、下夕町通り商店街の約 250m を通行止めにして、早朝から昼過ぎまで露店が連なって賑わいを見せている。

(問題 10)

八幡平アスピーテラインについて、次の 3 つのキーワードを必ず使用し、そのキーワードに関する解説を加えて 130～160 字程度の文章で説明しなさい。

県道の「号数」

「名称の由来」

「雪の回廊」

【祭り・行事】

（問題 1）

能代市では、9 月の中旬頃に東北を中心とした有名な全国の夏祭りを一堂に集めて披露するイベントが開かれている。この祭り行事の名称を書きなさい。

（問題 2）

正月 17 日、秋田市の太平山三吉神社の祭礼で梵天祭がある。梵天を担ぎ出し、先陣を競って神社に奉納するが、この時に掛けられる独特の掛け声が伝承されている。この掛け声はどのようなものか書きなさい。

（問題 3）

7 月第 4 土曜日を祭日として、仙北市の田沢湖畔で繰り広げられるたざわ湖祭りがみられるが、この祭りは田沢湖に住む竜女と八郎潟（大潟村）に住む竜神とされる 2 人の物語をモチーフとしている。その二人の名を何とというか書きなさい。

（問題 4）

羽後町荒処に伝えられる仙道番楽は、御上旨の舞、三番叟など表六番として、位頭御神楽、織姫の舞など裏六番を伝承する。この番楽では 12 番の諸曲を演じるに先立って必ず獅子舞が舞われるものである。こうした形式の番楽は獅子舞番楽と総称されるものだが、鳥海山麓一帯に伝承される番楽舞の流派をくむという。この流派は何と呼ばれてきたか書きなさい。

(問題5)

次の記述について【 】に入る最も適切な語句を書きなさい。

刈和野の大綱引きは、旧暦小正月（1月15日）の【 A 】の夜におこなわれていたが、今は2月10日に代わったものである。この大綱は上町が【 B 】を作り、下町では【 C 】を作り、これを合わせて引き合い勝負をしてその年の豊凶を占うという祭り行事である。

(問題6)

次の記述について【 】に入る適当な語句を書きなさい。

毛馬内の盆踊りでは2種の踊りが披露される。一つは京都の念仏踊りの流れをくむとされる【 A 】で、もう一つは戦から帰った武士たちを歓迎したとされる唄だけで踊る【 B 】である。踊りの衣装も優雅で、特に顔は【 C 】で独特の頬被りをする姿がみられる。

(問題7)

男鹿のナマハゲに類する秋田県内のなまはげ系習俗の名を、地名を付けて3つ書きなさい。

(問題8)

次の湯沢市にみられる大名行列の説明で誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

湯沢市愛宕神社の祭礼では古くから神輿渡御にともない大名行列がなされている。大名行列の花形は牛を引く子供としていることである。この子供は神の依り坐しだと考えられた祭りの信仰がみられる特色のある祭り行事となっている。

(問題 9)

次の綴子大太鼓の説明で誤っている箇所を 2 箇所見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

もとは稲荷宮と呼ばれた綴子神社の宵宮祭と例祭に奉納として奏でられる大太鼓で、もともと上町と下町とで競演したことから、次第に両町が太鼓の大きさまで競い合うものとなって現在に至る。大太鼓の行列の先導は露払いで、これは出陣行列を模したともされる。またこの祭り行事では、神楽獅子や奴踊り、棒遣いなどの芸能も披露されるものとなっている。

(問題 10)

寺沢（秋田市雄和）の悪魔祓い（やまはげ行事）について、次の 3 つのキーワードを必ず使用し、150 字程度の文章で説明しなさい。

「小正月」

「タラ面（棧俵面）」

「マセ棒」

【自然】

（問題 1）

秋田市と上小阿仁村の境界にそびえる壮年期の隆起山塊で、前岳、中岳、鶴ヶ岳、剣岳と稜線が続き、奥岳へ連なっている。この山は何と呼ばれているか、漢字で書きなさい。

（問題 2）

高さ約 40m の断崖絶壁が続く溪谷で、紅葉時は白い岩肌と相まって見事な景色となる。溪谷の絶壁に見られる地層は、秋田県のほとんどがまだ海中にあった古い時代に堆積したもので、地層中には絶滅した植物の化石や昆虫の化石などが見られる。この溪谷の名称を漢字で書きなさい。

（問題 3）

古くから北秋田、鹿角地方で飼育されてきた純粋な日本地鶏の一種で、美味であることから藩政期には年貢の代わりに納めたという。国の天然記念物に指定されているこの鳥の名称を漢字で書きなさい。

（問題 4）

白神山地に関する記述について、【 】に当てはまる最も適当な語句を書きなさい。

青森県南西部から秋田県北西部にまたがる面積約 13 万 ha を白神山地と呼ぶ。その中心部約 1 万 6971 ha が平成 5（1993）年に【 A 】に登録された。世界最大級といわれる【 B 】の原生林が残されており、多くの種類の生物が見られる。

(問題5)

十和田湖に関する記述について、【 】に当てはまる最も適切な語句を書きなさい。

第四紀洪積世に誕生した【 A 】湖で、面積は59.8 km²である。平安時代に起きた噴火は、火砕流と洪水を引き起こした。現在は、【 B 】が養殖に成功したヒメマスが生息している。

(問題6)

男鹿半島の北側にある安田海岸には、高さ20~30m、長さ十数kmにわたる崖が連続している。そこには、四つの地層を見ることができる。その地層の名称を2つ書きなさい。

(問題7)

八郎潟の干拓により誕生した大潟村は、冬期、冬鳥の渡りの中継地となっており、多数の冬鳥が飛来する。その冬鳥の和名(名前)を2つカタカナで書きなさい。

(問題8)

次の記述の中で誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

ユキツバキは、仙北市田沢を北限とする常緑広葉樹である。枝が堅くて雪が厚く積もっても枝折れしないなど多雪地帯に適応した種類である。柴倉峠にある6 haにおよぶユキツバキ群落は、県の天然記念物に指定されている。

(問題 9)

下記の記述の中で誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

ゼニタナゴは、大きさ数cmのやや扁平な体をしたコイ科の淡水魚である。繁殖期の雄は、腹部が赤い婚姻色を示す。溜め池などに生息する二枚貝に産卵する。秋田県が北限で、天然記念物である。

(問題 10)

象潟について、次の4つのキーワードを必ず使用し、120字程度の文章で説明しなさい。

「山体崩壊」

「小島」

「地震」

「隆起」

【生活文化】

(問題 1)

スイレン科の多年草で夏に出る若芽を食用とし、ぬめりのある食感を楽しむ食材である。三種町が産地として知られているが、その食材の名前を書きなさい。

(問題 2)

横手市山内などの県南では、大根を燻した漬け物の生産が盛んである。この漬け物の名前を書きなさい。

(問題 3)

秋田市出身の仏教学者でチベットへ渡り、修業の後にチベット大蔵経全巻などの文献を携えて帰国し、この文献を整理・研究を行った人物の名前を書きなさい。

(問題 4)

漫画家「矢口高雄」の記述について、【 】に入る最も適切な語句を正しく書きなさい。

矢口高雄は羽後銀行に入行した後に 30 歳で漫画家デビューした。昭和 48(1973)年に少年マガジン連載の【 A 】が大ヒットし、以後、現在まで活躍している。出身地には彼の漫画をテーマとした施設【 B 】がある。

(問題5)

生駒塗の記述について、【 】に入る最も適当な語句を書きなさい。

生駒塗は第二次大戦後、生駒弘・親雄父子が【 A 】で創業した塗り物である。南国台湾や沖縄の製法を取り入れた新しい塗り物で、色は鮮やかな【 B 】を基調として黒色で枠どりしている。

(問題6)

県南地方は麺の種類が豊富なことで知られている。その中から、土地の名前を冠した麺の名前を2つ書きなさい。

(問題7)

民謡「秋田音頭」の歌詞には秋田の名物が盛り込まれている。その歌詞の中から、名物の名前を2つ書きなさい。

(問題8)

日本画家、福田豊四郎の記述の中で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

福田豊四郎は大館市生まれで、新日本画研究会などを結成して日本画に新風を吹き込んだ。多くの作品は横手市の秋田県立近代美術館に所蔵されている。

(問題 9)

伝統工芸品「ぜんまい織」の説明の中で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

ぜんまい織は、絹と自生するぜんまいの綿毛の混紡糸で織られた織物がある。保温性・防水性にすぐれており、産地は由利本荘市岩城亀田である。

(問題 10)

秋田県出身の出版人「佐藤義亮」について、次の3つのキーワードを必ず使用し、150字程度の文章で説明しなさい。

「角館」

「大出版社」

「記念文学館」

【産業】

（問題 1）

平成 24（2012）年 10 月に秋田県内の鮎川油ガス田において、国内で初めて試験採取に成功した、新たなエネルギー資源として注目される新型原油を何というか、書きなさい。

（問題 2）

秋田県では土崎、能代、男鹿などを寄港地とし、江戸中期から明治にかけて、上方（大阪）と蝦夷地（北海道）を日本海航路で結んだ商船の名称を書きなさい。

（問題 3）

ラミナ（ひき板）を木目方向と平行に並べ積層接着したもので、寸法精度、強度性能が高いという特徴から住宅構造材への利用が急速に普及した木材を何というか、書きなさい。

（問題 4）

次の記述について、【 】に当てはまる最も適当な語句を書きなさい。

秋田県の人口は、昭和 57（1982）年以降、減少を続けている。【 A 】の減少が一貫して続いているうえ、平成 5（1993）年以降は【 B 】も減少を続けている。

(問題5)

次の記述について、【 】に当てはまる最も適当な語句を書きなさい。

秋田県の産業構造を総生産からみると、もっとも大きいのは【 A 】で、次いで政府サービス生産者（国、地方公共団体）、以下、【 B 】、卸売・小売業、建設業などとなっている。

(問題6)

J R奥羽本線が結ぶ、始発駅、終着駅となる2つの駅名を書きなさい。

(問題7)

秋田県の果実のうち栽培面積がリンゴの次に大きい品目を2つ書きなさい。

(問題8)

秋田空港に関する記述の中で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

旧秋田空港が移転して、昭和59（1981）年6月に開港した。滑走路は長さ2,500m、幅60mで、現在、定期路線は札幌便、東京便、名古屋便、大阪便の計4便の国内線が就航している。また、今年（2019）から韓国との定期チャーター便が初めて就航した。

(問題 9)

秋田県のバス事業に関する記述の中で、誤っている箇所を見つけ、その誤りの語句と正しい語句の両方を書きなさい。

平成 18 (2006) 年の道路運送法の改正以前から一般乗合旅客自動車運送事業者に該当していた路線定期運行バス事業者は、県北を地盤とする県北バス(株)、県央地盤の秋田中央交通(株)、県南・由利本荘地盤の羽後交通(株)、および県内では高速バスのみ運行するジェイアールバス東北(株)の 4 社である。

(問題 10)

秋田の酒造りについて、次の 3 つのキーワードを必ず使用し、100～150 字程度の文章で説明しなさい。

「山内杜氏」

「美酒王国」

「蔵元杜氏」